

被災地における要介護高齢者の状況について

1 被害状況

老人福祉施設等の被害状況は下記のとおり。

【物的被害】

入所居住系施設

全県) 405施設のうち117施設(28.9%)に被害発生

沿岸) 100施設のうち34施設(34.0%) "

⇒うち全半壊 14施設 ※一時使用不能

居宅系サービス事業所

全県) 2,003事業所のうち122事業所(6.1%)に被害発生

沿岸) 408事業所のうち110事業所(27.0%) "

【利用者の人的被害】

入所居住系の3施設で死亡・行方不明者128名(津波を原因としている方)

2 要介護高齢者の状況

仮設住宅への入居による環境の変化に伴い、高齢者の心身機能の低下や避難生活等による疲労の蓄積により、生活不活発病や認知症、うつ状態となるおそれが高まり、要介護認定者の増加、介護度の重度化が懸念されているところ。

(1) 要介護認定者数(第1号被保険者)

要介護認定者数は、高齢化の伸展に伴い、本県全体で伸びているところ。沿岸被災地においても、震災前の平成23年2月末に比べ4.2%増加しているが、増加率は全県の8.1%に比べ1/2にとどまっている。

直近の1年(平成23年12月から平成24年12月)の増加状況をみると、全県が5.9%であるのに対し、沿岸被災地は4.9%となっており、大きな差が見られなくなっている。

(単位:人)

	H23.2	H23.12		H24.12					
	認定者数	認定者数	対H23.2 増減	対H23.2 伸び率	認定者数	対H23.2 増減	対H23.2 伸び率	対H23.12 増減	対H23.12 伸び率
全県	62,434	63,748	1,314	2.1%	67,504	5,070	8.1%	3,756	5.9%
沿岸市町村 (佐田線)	14,756	14,651	-105	-0.7%	15,375	619	4.2%	724	4.9%

(2) 新規の要介護認定者数(第1号被保険者)

新たに要介護認定を受けた新規認定者数の増加率を、平成22年度と平成23年度の12か月で比較すると、全県で10.3%であるのに対し、沿岸地域では20.6%となっており、被災地において新たに要介護認定を受けた者が増えたことがわかる。

なお、平成24年度(4月~12月)の状況を、震災前の平成22年度の同期間と比較した場合、全県で1.8%増加しているのに対し、沿岸地域では1.1%となっている。

【年間(12月)比較】

(単位:人)

	H22		H23	
	4~3月 新規認定者数	4~3月 新規認定者数	対H22 増減	対H22 伸び率
全県	14,954	16,491	1,537	10.3%
沿岸市町村 (佐田線)	3,379	4,075	696	20.6%

【9か月(4月～12月)比較】

(単位:人)

	H22		H23		H24		
	4～12月 新規認定者数	4～12月 新規認定者数	対H22 増減	対H22 伸び率	4～12月 新規認定者数	対H22 増減	対H22 伸び率
全県	11,441	12,300	859	7.5%	11,649	208	1.8%
沿岸市町村 (住田除く)	2,611	3,128	517	19.8%	2,639	28	1.1%

(3) 要介護認定率 (第1号被保険者)

平成24年12月の要介護認定率(要介護認定者数/第1号保険者数)は全県で18.5%、沿岸被災地で18.4%とほぼ同じであるが、震災前の平成23年2月と比較すると、全県が1.1ポイントの増加であるのに対し、沿岸地域は1.4ポイントの増加と若干高くなっている。

直近の1年(平成23年12月から平成24年12月)の増加状況をみると、全県及び沿岸地域ともに0.6ポイントの伸びとなっている。

(単位:%,ポイント)

	H23.2 要介護 認定率	H23.12 要介護 認定率	(H23.2比)	H24.12 要介護 認定率	
				(H23.2比)	(H23.12比)
全県	17.4	17.9	0.5	18.5	0.6
沿岸(住田除く)	17.0	17.8	0.8	18.4	0.6

(4) 平均要介護度 (第1号被保険者)

平均要介護度は全県、沿岸共に伸びていないことから、重度化は把握できていない。平均要介護度は低下傾向にあり、要介護度1以下の軽度の要介護認定者の割合が上昇している。軽度の要介護認定者の割合が、震災前に比べ全県では1.5ポイントの上昇であるところ、沿岸地域では2.0ポイント上昇している。

区分	H23.2		H23.12		H24.12		(H23.2比)	
	平均 要介護度(度)	要介護1以下 割合(%)	平均 要介護度(度)	要介護1以下 割合(%)	平均 要介護度(度)	要介護1以下 割合(%)	平均要 介護度(度)	要介護1以下 割合の増減
全県	2.344	40.3	2.324	40.7	2.285	41.8	-0.059	1.5
沿岸(住田除く)	2.421	36.2	2.392	36.5	2.341	38.2	-0.08	2.0

これらの状況から、平成23年度は、被災後の外出機会の減少や環境の変化により、歩行が困難になるなどの生活不活発病が増加し、軽度ではあるが、介護サービスが必要となった高齢者が増え、新たに要介護認定を受ける方が急増したものの、本年度に入り、その状況は落ち着いているものと考えられる。

3 被災地における介護予防・生活不活発病の取組について

上記の状況をうけ、県では介護サービス基盤の早期復旧に努めるとともに、国の1次補正予算で措置された「地域支え合い体制づくり事業」を活用して、

- ・ 高齢者等サポート拠点の整備
- ・ サポート拠点等における介護予防教室や従事者研修の開催、普及啓発などの市町村介護予防事業の支援
- ・ 沿岸地域におけるリハビリテーション活動の支援
- ・ 老人クラブによる高齢者の訪問活動の推進
- ・ 高齢者が気軽に参加できる運動教室、世代間交流・地域交流による高齢者フェスタやレクリエーション活動等各種活動への支援

等を行ってきたところである。(事業の詳細については、資料No.4 参考資料2のとおり。)

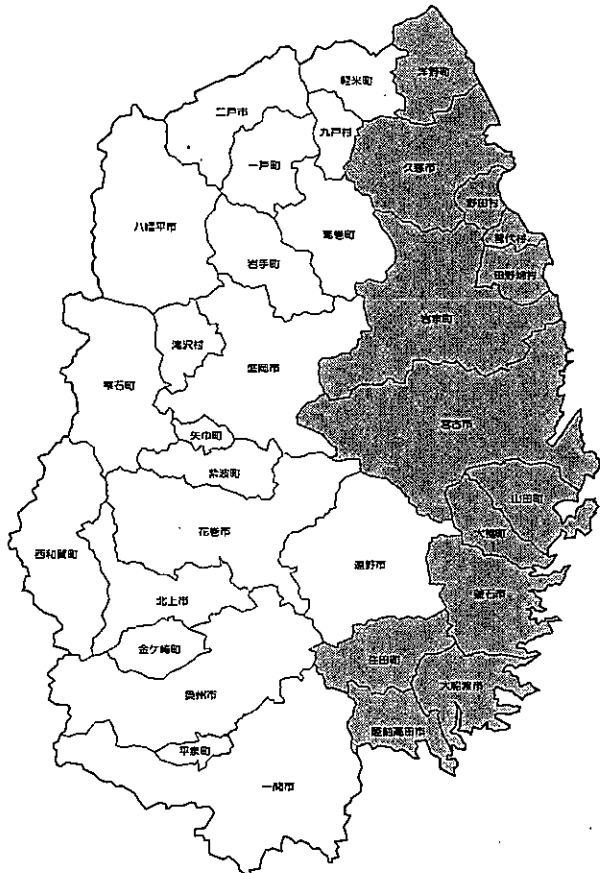
発災後2年が経過し、これらの取組への参加者の固定化、男性の参加率の低迷が問題となっている。

今年度は岩泉町において、被災市町村地域支え合い体制づくり事業費補助を活用した「高齢者の新たな生きがい創造事業」により、高齢者自身が主体的かつ継続的な活動を展開。

平成25年度も、本事業により高齢者が主体的な活動を行えるようサポートを継続

岩手県沿岸市町村の介護保険施設の被害状況及び復旧状況 【H25.2.1現在】

- 注1) 特養は、特別養護老人ホーム及び地域密着型特別養護老人ホーム。
 注2) GH等は、認知症高齢者グループホーム及び小規模多機能型居宅介護事業所(定員は宿泊定員)。
 注3) その他入所は、養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び特定施設の指定を受けている有料老人ホーム。
 注4) 被災は、施設及び設備に物的被害を受けた施設数。
 注5) 現状の施設数(定員)は、震災前の施設のうち、現在サービスを提供している施設数に震災後開設した施設を加えたもの。



種別	震災前(3/1)	被災	未再開	現状	復旧状況
	施設数(定員)		施設数(定員)	施設数(定員)	
特養	4 (236)	2	1 (58)	3 (178)	
老健	1 (152)	1		1 (152)	
GH等	8 (72)	3	2 (18)	7 (63)	
その他入所	2 (100)			2 (100)	
入所・計	15 (560)	6	3 (76)	13 (493)	88.0%
居宅事業所	57	24	4	54	94.7%

未再開施設…さんりくの園(58)、多機能ホームさんりく(9)、GHさんりく(9)
 新設施設…GH後ノ入(9)

種別	震災前(3/1)	被災	未再開	現状	復旧状況
	施設数(定員)		施設数(定員)	施設数(定員)	
特養	1 (90)	1		2 (119)	
老健	1 (190)	1		1 (190)	
GH等	4 (54)	1		8 (72)	
その他入所					
入所・計	6 (334)	3		11 (381)	114.1%
居宅事業所	33	27	2	32	97.0%

新設施設…小規模多機能ホーム玉山(9)、GHりんご(人数変更無し)、GH竹の里(人数変更無し)、地域密着特養「陸前高田」(29)、GH氷上山(9)

種別	震災前(3/1)	被災	未再開	現状	復旧状況
	施設数(定員)		施設数(定員)	施設数(定員)	
特養	1 (52)			1 (52)	
老健					
GH等	1 (9)			1 (9)	
その他入所					
入所・計	2 (61)			2 (61)	100.0%
居宅事業所	10			10	100.0%

種別	震災前(3/1)	被災	未再開	現状	復旧状況
	施設数(定員)		施設数(定員)	施設数(定員)	
特養	3 (221)	3		3 (221)	
老健	2 (192)	2		2 (192)	
GH等	7 (70)	2		12 (120)	
その他入所	1 (50)	1	1 (50)		
入所・計	13 (533)	8	1 (50)	17 (533)	100.0%
居宅事業所	73	22	5	71	97.3%

未再開施設…五葉寮(50) 新設施設…GHやかた(9)、小規模多機能ホームやかた(5)
 新設施設…GHさわこ(9)、GH楓(9)、GHくら(18)

種別	震災前(3/1)	被災	未再開	現状	復旧状況
	施設数(定員)		施設数(定員)	施設数(定員)	
特養	2 (110)	2		2 (110)	
老健	1 (96)			1 (96)	
GH等	2 (23)	1	1 (5)	1 (18)	
その他入所					
入所・計	5 (229)	3	1 (5)	4 (224)	97.8%
居宅事業所	23	8	2	21	91.3%

未再開施設…多機能センターほっと大町(5)

種別	震災前(3/1)	被災	未再開	現状	復旧状況
	施設数(定員)		施設数(定員)	施設数(定員)	
特養	5 (331)	5		5 (331)	
老健	3 (288)	2		3 (288)	
GH等	9 (93)	3	1 (5)	13 (138)	
その他入所	1 (50)	1	1 (50)		
入所・計	18 (762)	11	2 (55)	21 (757)	99.3%
居宅事業所	96	30	7	92	95.8%

種別	震災前(3/1)	被災	未再開	現状	復旧状況
	施設数(定員)		施設数(定員)	施設数(定員)	
特養	6 (378)	3	1 (58)	6 (349)	
老健	2 (342)	2		2 (342)	
GH等	13 (135)	3	2 (18)	16 (144)	
その他入所	2 (100)	1		2 (100)	
入所・計	23 (955)	9	3 (76)	26 (935)	97.9%
居宅事業所	100	51	6	96	96.0%

種別	震災前(3/1)		被災	未再開		現状		復旧 状況
	施設数(定員)			施設数(定員)		施設数(定員)		
特養	5 (310)					6 (339)		
老健	2 (196)		2			2 (196)		
GH等	14 (115)		4	1 (9)		13 (106)		
その他入所	3 (89)		1			3 (89)		
入所・計	24 (710)		7	1 (9)		24 (730)		102.8%
居宅事業所	85		15			96		112.9%

未再開施設…GHたろう(9)
新設施設…サンホームみやこ絆(29)

種別	震災前(3/1)		被災	未再開		現状		復旧 状況
	施設数(定員)			施設数(定員)		施設数(定員)		
特養	1 (100)					1 (100)		
老健	1 (98)		1	1 (98)				
GH等	4 (33)		2	1 (6)		5 (45)		
その他入所								
入所・計	6 (231)		3	1 (104)		6 (145)		62.8%
居宅事業所	23		13	3		23		100.0%

未再開施設…シーサイドかろ(98)、小規模多機能センターやすらぎ(6)
新設施設…小規模多機能恵みの里「眺望」(9)

種別	震災前(3/1)		被災	未再開		現状		復旧 状況
	施設数(定員)			施設数(定員)		施設数(定員)		
特養	1 (70)					1 (110)		
老健	1 (85)					1 (85)		
GH等	3 (27)					4 (36)		
その他入所								
入所・計	5 (182)					6 (231)		126.9%
居宅事業所	17					17		100.0%

新設施設…GH楽ん楽ん(9) 増床…百楽苑(40)

種別	震災前(3/1)		被災	未再開		現状		復旧 状況
	施設数(定員)			施設数(定員)		施設数(定員)		
特養	2 (79)					2 (79)		
老健								
GH等	2 (25)					2 (25)		
その他入所								
入所・計	4 (104)					4 (104)		100.0%
居宅事業所	7					7		100.0%

種別	震災前(3/1)		被災	未再開		現状		復旧 状況
	施設数(定員)			施設数(定員)		施設数(定員)		
特養	9 (559)					10 (628)		
老健	4 (379)		3	1 (98)		3 (281)		
GH等	23 (200)		6	2 (15)		24 (212)		
その他入所	3 (89)		1			3 (89)		
入所・計	39 (1,227)		10	3 (113)		40 (1,210)		98.6%
居宅事業所	132		28	3		143		108.3%

種別	震災前(3/1)		被災	未再開		現状		復旧 状況
	施設数(定員)			施設数(定員)		施設数(定員)		
特養	3 (152)					3 (152)		
老健	2 (212)					2 (212)		
GH等	2 (17)					6 (62)		
その他入所	1 (50)		1			1 (50)		
入所・計	8 (431)		1			12 (476)		110.4%
居宅事業所	46		1			47		102.2%

新設施設…GHひだまり(9)、GHあさひ(18)、小規模あさひ(9)、小多ひなたぼっこ

種別	震災前(3/1)		被災	未再開		現状		復旧 状況
	施設数(定員)			施設数(定員)		施設数(定員)		
特養	2 (125)					3 (154)		
老健	1 (100)					2 (140)		
GH等	5 (51)		2			7 (87)		
その他入所								
入所・計	8 (276)		2			12 (381)		138.0%
居宅事業所	23					25		108.7%

新設施設…老健たねいち(40)、GHくるみ(18)、小多まごころ(9)、
新設…小規模特養じょうない(29) 増床…GH満天(9)

種別	震災前(3/1)		被災	未再開		現状		復旧 状況
	施設数(定員)			施設数(定員)		施設数(定員)		
特養	1 (50)					2 (79)		
老健								
GH等	1 (9)		1			1 (9)		
その他入所								
入所・計	2 (59)		1			3 (88)		149.2%
居宅事業所	5					6		120%

廃止施設…GHことぶき(9)
新設施設…特養結の里(29)、GHめくもり(9)

種別	震災前(3/1)		被災	未再開		現状		復旧 状況
	施設数(定員)			施設数(定員)		施設数(定員)		
特養	1 (50)					1 (80)		
老健								
GH等	1 (9)					2 (15)		
その他入所								
入所・計	2 (59)					3 (95)		161.0%
居宅事業所	6					6		100%

新設施設…くろさき小規模多機能ホーム(6) 増床…うねとり荘(30)

種別	震災前(3/1)		被災	未再開		現状		復旧 状況
	施設数(定員)			施設数(定員)		施設数(定員)		
特養	7 (377)					9 (465)		
老健	3 (312)					4 (352)		
GH等	9 (86)		3			16 (173)		
その他入所	1 (50)		1			1 (50)		
入所・計	20 (825)		4			30 (1,040)		126.1%
居宅事業所	80		1			84		105.0%

種別	震災前(3/1)		被災	未再開		現状		復旧 状況
	施設数(定員)			施設数(定員)		施設数(定員)		
特養	27 (1,645)		8	1 (58)		30 (1,773)		
老健	12 (1,321)		7	1 (98)		12 (1,263)		
GH等	54 (514)		15	5 (38)		69 (667)		
その他入所	7 (289)		4	1 (50)		6 (239)		
入所・計	100 (3,769)		34	8 (244)		117 (3,942)		104.6%
居宅事業所	408		110	16		415		101.7%

入所系施設の復旧状況

$$3,942 / 3,769 = 104.6\%$$

居宅系事業所の復旧状況

$$415 / 408 = 101.7\%$$

介護人材確保に向けた取組の検討にあたって

現 状

1 介護職員の満足度

平成 23 年度の介護労働実態調査の結果によると、介護施設の人材不足の原因の一つに職員の満足度の低さがあげられており、その原因の一つに自分の将来のキャリア形成が描けないことや事業所内のルールの不明確さ等労働環境が整っていないことが挙げられている。

項 目	全体	岩手県
仕事内容のわりに賃金が低い	44.2%	53.8%
人手が足りない	40.2%	36.3%
有給休暇が取りにくい	36.1%	39.7%
身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)	30.8%	27.9%
休暇が取りにくい	29.4%	28.2%
業務に対する社会的評価が低い	29.3%	27.5%
精神的にきつい	28.2%	34.4%
夜間や深夜時間帯に何か起きてるのではないかと不安がある	19.8%	32.1%
健康面(感染症、怪我)の不安がある	15.0%	17.2%
労働時間が不規則である	13.3%	13.7%

2 必要な介護人材の増加

有効求人倍率は他産業に比較して高くなっており、特に、沿岸部はその傾向が顕著である。

	大船渡管内	釜石管内	宮古管内
企業全体	0.82	1.12	0.92
介護職員	1.61	1.37	1.86

新規に整備した事業所が利用者の受入を制限したり、開設を先送りしている状況も出てきている。

3 職業訓練の状況

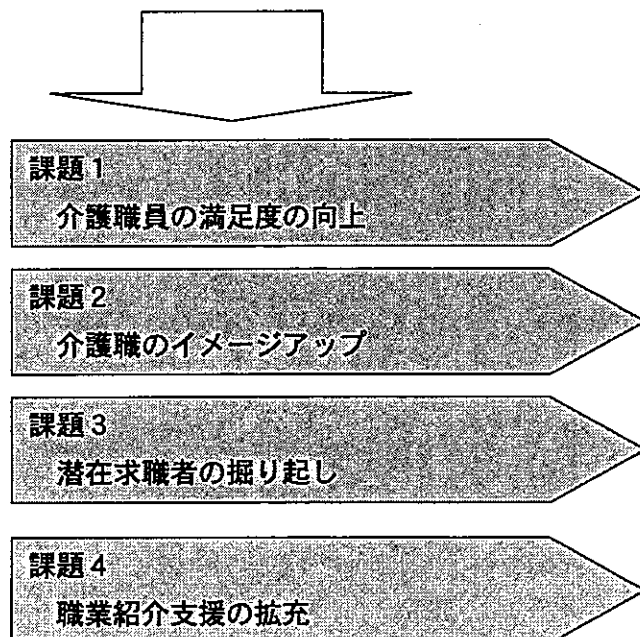
介護員養成課程の修了者が、介護事業所以外に就職しているケースが少なくない。

4 マッチングの状況

介護事業所に特化したマッチングが少なく、小規模事業者が参加しにくいこともある。

5 復興への関心

首都圏には、復興への関心から、被災地支援を希望する若者等(U・Iターン)が少なくないものの、情報不足のため、足踏みしている人が多い。



対応方向

- ① 労働環境整備・改善促進(意識改革)
- ② 「介護の仕事」の魅力を発信し、マイナスイメージを払しょく
- ③ 情報発信力の強化
- ④ マッチング機会の提供



介護人材確保事業
介護職員・定着促進事業

介護人材確保事業

◆ 目的

東日本大震災津波の影響により、本県の沿岸部では、施設は完成したものの人員基準を満たせず、開設できない施設がある等介護人材不足が深刻化しつつある。

このような状態を恒常化させないために、当該事業を実施することにより、介護人材の確保を図ろうとするもの。

◆ 事業概要

1 介護人材確保事業キックオフイベント

介護人材確保に係る介護事業所の抱える問題を共有するとともに、本県における新たな取り組みへの機運の醸成を図るためのイベントの開催。

2 労働環境整備・改善セミナー

- ① 県内の介護事業所における労働環境の整備・改善を目的としたセミナーの開催。
- ② 沿岸・県北広域局管内で実施する集団指導と併せて、介護事業所を対象としたセミナーの開催。

3 コミュニティ形成事業

介護事業者による自発的な取り組みを促進するために、介護事業所における問題を共有し、対策を検討・実践・検証するコミュニティの形成。

当該事業の概要は、メルマガ等を活用し、県内の介護事業所への情報提供により、取組を波及。

4 「介護の仕事」魅力発信事業

テレビ番組を活用し、介護従事者の仕事の素晴らしさをPRすることにより、潜在的求職者を発掘。

【県内】県内放送で県内の介護従事者の生の声を放送（番組制作は県内放送事業者に委託）。

- ・ 放送回数：2分程度／回×2クール（半年）
- ・ 放送条件：1クール目は放送用に制作、2クール目は本編再放送（告知は新規作成）

【県外】BSフジ「介護ビジネス最前線」で本県の取組みを放送（番組制作は(株)フジテレビに委託）。

- ・ 放送時間：月に1回、日曜 26：00～26：30

※ 当番組は2次利用がフリーであるため、ユーチューブ等で放映し、継続的にPRを実施。

5 情報発信 IT活用促進事業

介護事業所のIT活用を促進させるため、成功事例等を紹介するセミナーの開催。

6 ポータルサイト構築事業

求職者が県内の介護の情報を簡単に把握できるよう、ワンストップのポータルサイトの構築。

7 メルマガ情報発信事業

当該事業の状況や県、関係機関からの情報をPRするために、メルマガによる情報発信の実施。

8 「介護の仕事」職業紹介事業

- ① 職業訓練校及び介護員養成講座において受講生に対し、事業所等の紹介
- ② 沿岸地区で小規模事業所を対象とした合同面接会の開催

◆ 予算額

24,276千円

介護職員育成・定着促進事業

◆ 目的

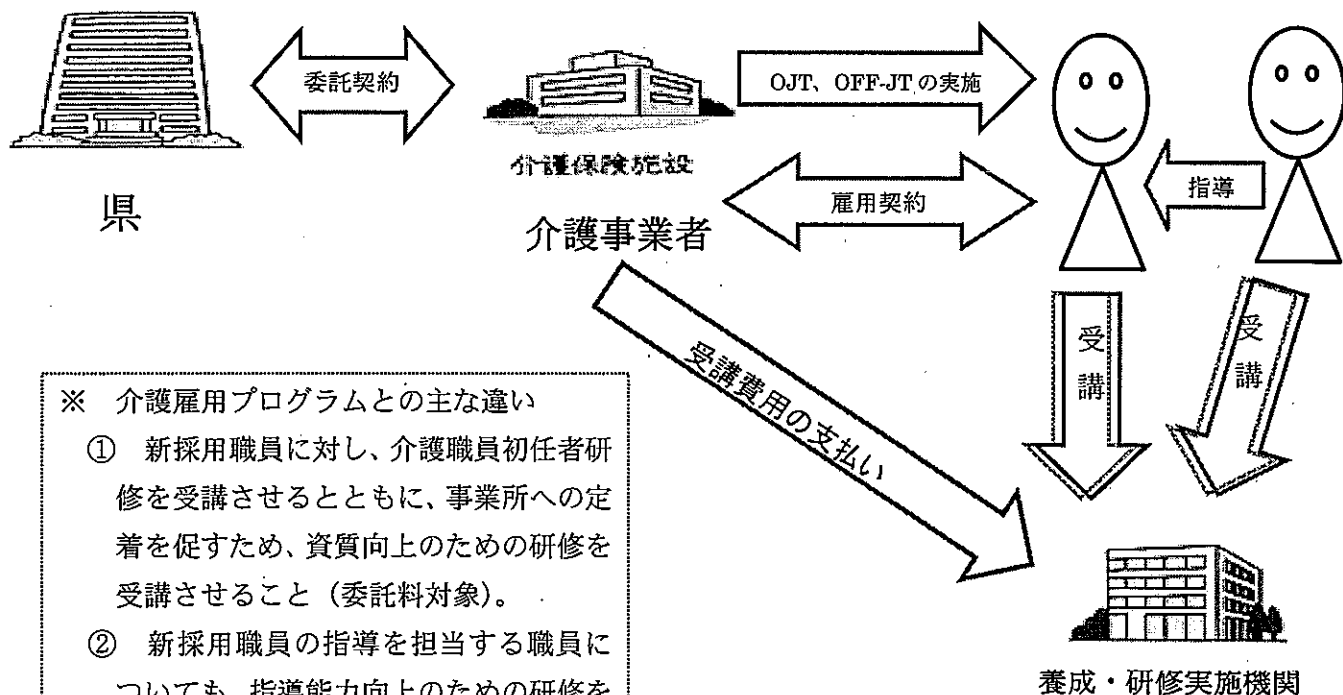
介護従事者としての就労を目指す離職失業者等を有期雇用契約労働者として新たに雇用し、介護施設等で介護業務に従事させるとともに、介護職員初任者研修修了者の資格を取得するための養成講座及び資質の向上のための研修等を受講させることにより、介護現場における緊急の雇用拡大と人材の育成及び資質の向上を図るもの。

◆ 事業概要

- (1) 介護サービス事業者が介護未経験の被災離職者等を有期雇用し、介護施設で働かせ OJT や OFF-JT を組み合わせた研修を実施し、介護サービスに必要な知識・技術を習得させるとともに、資質の向上のための各種研修や資格の取得のための養成講座や資質向上のための各種研修を受講させ、介護人材の育成を図る。
- (2) 介護職員の事業所等への定着を図るため、指導に当たる職員の指導能力の向上等のための研修を事業者の負担により受講させる。
- (3) 県は (1) に係る費用を負担する。

◆ 予算額等

委託料：107,928 千円 (@2,998 千円×36 名)



※ 介護雇用プログラムとの主な違い

- ① 新採用職員に対し、介護職員初任者研修を受講させるとともに、事業所への定着を促すため、資質向上のための研修を受講させること（委託料対象）。
- ② 新採用職員の指導を担当する職員についても、指導能力向上のための研修を受講させること（事業者負担）。